

こ ども 読 書 の ま ち い ち の み や
こ ども 読 書 の ま ち い ち の み や

こ ちら の 本 も よ ん で み て ね !

きゅうけつきの息子の日記

913カ 柏葉 幸子/作, 山口 みねやす/絵 (教育画劇)

花守の話

913カ 柏葉 幸子/作, 安藤 貴代子/絵 (講談社)

ぼくちの海賊トレジャ



913カ 柏葉 幸子/作, 野見山 響子/絵 (偕成社)

ぼくと母さんのキャラバン

913カ 柏葉 幸子/著, 泉 雅史/絵 (講談社)

ざしきわらしー郎太の修学旅行

913カ 柏葉 幸子/作, 岡本 順/絵 (あかね書房)

帰命寺横丁の夏

913カ 柏葉 幸子/作, 佐竹 美保/絵 (講談社)

とぶキャベツのひみつ

913カ 柏葉 幸子/作, めるへんめーかー/絵 (旺文社)

おつかいまなんかじゃありません

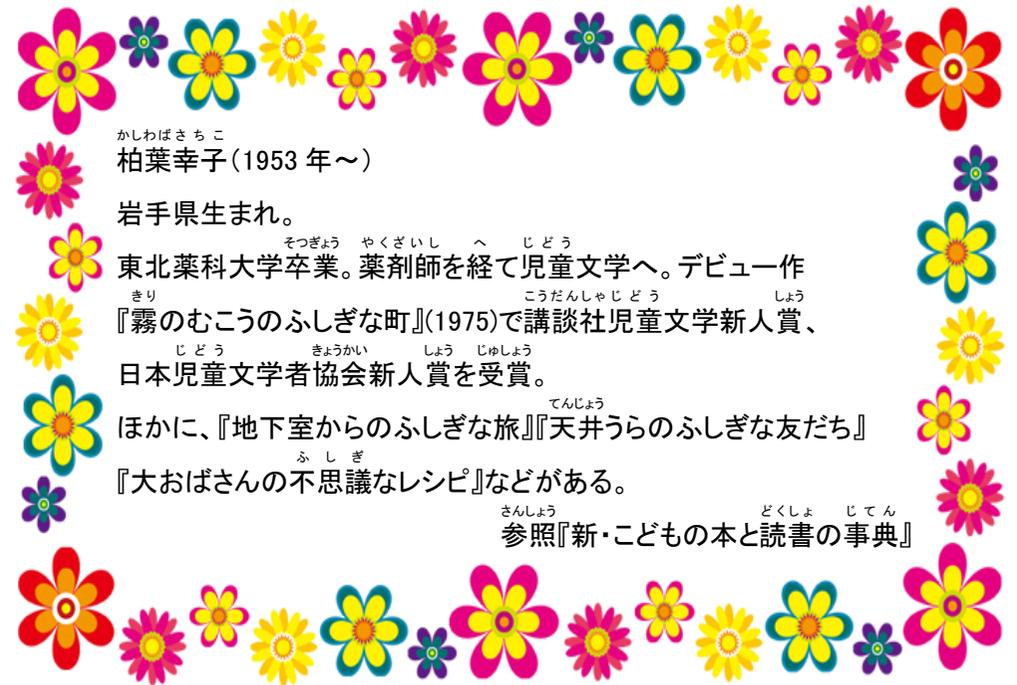
913カ 柏葉 幸子/作, つちだ のぶこ/絵 (ポプラ社)

かさじぞう

Eカサ 柏葉 幸子/文, 村上 勉/絵 (小学館)

かしわばさちこ

柏葉幸子の本



かしわばさちこ
柏葉幸子(1953年～)

岩手県生まれ。

東北薬科大学卒業。薬剤師を経て児童文学へ。デビュー作『霧のむこうのふしぎな町』(1975)で講談社児童文学新人賞、日本児童文学者協会新人賞を受賞。

ほかに、『地下室からのふしぎな旅』『天井うらのふしぎな友だち』『大おばさんの不思議なレシピ』などがある。

参照『新・こどもの本と読書の事典』



一宮市立中央図書館
2022年11月発行



天井うらのふしぎな友だち

べにとりょうがひっこした家に、おかしな4人組があらわれててんじょううらに住みついてしまった。きみょうなことをつぎつぎと起こすこの人たちは、いったい何者？



913 カ

柏葉 幸子/作, 杉田 比呂美/絵 (講談社)



ラ・モネッタちゃんはきげんがわるい

いつもきげんがわるいら・モネッタひめ。今までやめさせた家庭きょうしは数知れず。ところがタフなバロー口先生のことは気に入ったようで、いっしょに「ひめぎみ学校」に通います。

913 カ

柏葉 幸子/作, 佐竹 美保/絵 (偕成社)



竜が呼んだ娘

りゅうによばれたものだけが、村を出ることができるざいにんの村に生まれたミア。りゅうによばれたミアは村を出て、王宮でくらすことになるが…。

913 カ

柏葉 幸子/作, 佐竹 美保/絵 (朝日学生新聞社)



地下室からのふしぎな旅

黒マントの男にかかえられて、地下室のかべをぬけたアカネとチィおばさん。そこは、地下室のとなりにある世界だった。ふたりのふしぎな旅が始まります。



913 カ

柏葉 幸子/作, 杉田 比呂美/絵 (講談社)



おばけ美術館へいらっしやい

「館長アルバイトぼしゅう。ただし、10さいいかの女の子」軽い気持ちで館長のアルバイトをすることになったまひる。ドアを開けた先は、おばけびじゅつかんだったのです。



913 カ

柏葉 幸子/作, ひらい たかこ/絵 (ポプラ社)



大おばさんの不思議なレシピ

大おばさんのレシピノートは、ただのレシピではありません。レシピどおりにものを作ると、なぜかふしぎな世界へワープしてしまうのです。4つのレシピをめぐる、ぼうけんのお話。

913 カ

柏葉 幸子/作, 児島 なおみ/絵 (偕成社)



霧のむこうのふしぎな町

水玉もようのかさを追いかけて、ふしぎな町へ。深い森の中に赤やクリーム色の家。雨にぬれたような道…。そこはリナがさがしていた、きりの谷のめちゃくちや通りでした。

913 カ

柏葉 幸子/作, 杉田 比呂美/絵 (講談社)



魔女が相棒？ねぐせのヤマネ姫

まじよによばれ、1日だけひめの身代わりになったサヤ。おしろの人間はのろいでケモノにされていた。しかも今年はケモノが1人ふえていて、サヤがなぞをとくことに…。



913 カ

柏葉 幸子/作, 長田 恵子/絵 (理論社)

